

平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

森林保全課

1 施設の概要等

施設名	広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園（ひろしま遊学の森）		
所在地	広島市東区福田町 10166-2		
設置目的	○緑化に関する知識及び技術の普及 ○緑化の推進		
施設・設備	面積 124.97ha, 管理事務所・展示館等(4棟), 遊歩道(12,000m), 駐車場(474 台)等		
指定管理者	4 期目	H28. 4. 1～H29. 3. 31	みずえ緑地(株)
	3 期目	H23. 4. 1～H28. 3. 31	みずえ緑地(株)
	2 期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	みずえ緑地(株)
	1 期目	H17. 4. 1～H20. 3. 31	みずえ緑地(株)

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4 期	28	96,870 人	93,335 人	△4,195 人
増減理由	3 期平均 23～27	96,870 人	97,530 人	△1,175 人	660 人(100.7%)
	2 期平均 20～22	93,900 人	98,705 人	4,769 人	4,805 人(105.1%)
	1 期平均 17～19	93,600 人	93,936 人	12,513 人	336 人(100.4%)
	16 (導入前)	—	81,423 人	—	—
利用者が集中する春（5月～6月）と秋（9月～10月）に天候が悪く、利用者が減少した。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	利用者へのアンケート調査	施設利用者, 研修会参加者等(1,207 人)
	【主な意見】	【その対応状況】
	施設までの案内の看板があればよい	広島市森林公園との統一愛称を掲載した案内板に交換するとともに, 距離表示看板を大型化した。
犬が遊べる場所がほしい	犬がノーリードで遊べる広場を整備した。	
研修会の題材や内容の改善要望	アンケート結果を参考に, より利用しやすいよう研修会の内容や開催回数の検討・見直しを行った。	

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務報告書
	日報 (必要随時)	○ 施設の老朽・損傷状況等
管理運営会議 (1 回・現地)	【特記事項等】 広島市森林公園との共同管理を進めるため, 両園の月例会議に双方の職員が出席し, 情報の共有化及び連携強化を図った。 【指定管理者の意見】 ・既存施設を有効活用し, 県民サービスの向上を図りたい。 利用しやすい施設への改修を実施したい。 ・施設の設置目的である緑化に関する知識の普及や緑化の推進に向けて, より充実した施設の運営管理をしたい。	
現地調査 (約 2 ヶ月ごとに実施)	【県の対応】 ・県・市の両施設の統一愛称 (ひろしまの遊学の森) の設定に伴う道路標識や園内マップ等の改修や, 一体的な管理を図るため県と市が同一の指定管理者を選定した。 ・設備の老朽箇所の点検・把握を行い, 修繕計画を作成し, 緊急度の高い設備から修繕を実施した。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	4期	28	56,570		△2	料金 収入 (決算額)	—	—
3期		27	56,572	△103	—	—		—	—
		26	56,675	1,575	—	—		—	—
		25	55,100	△100	—	—		—	—
		24	55,200	0	—	—		—	—
		23	55,200	1,950	—	—		—	—
2期平均 20～22			53,250	△3,210	—	—		—	—
1期平均 17～19			56,460	△5,794	—	—		—	—
16 (導入前)			62,254	—	—	—		—	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		H28 決算額	H27 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	56,570	56,572	△2	
		料金収入	0	0	0	
		その他収入	0	0	0	
		計(A)	56,570	56,572	△2	
	支出	人件費	21,402	23,970	△2,568	職員が1名退職したことによる減
		光熱水費	1,760	1,781	△21	
		設備等保守点検費 清掃・警備費等	8,006	7,571	435	縣市連携に係る警備会社の統一(変更)に伴う防犯機器の撤去による増
		施設維持修繕費	4,095	3,741	354	レストハウスの修繕(天井等)による増
		緑地管理費等	10,780	10,357	423	犬が遊べる広場開設による増
		事務局費	6,777	5,314	1,463	獣害(イノシシ, 狢)対策の増
		その他	3,767	3,862	△95	
	計(B)	56,587	56,596	△9		
	収支①(A-B)	△17	△24	7		
	自主事業 (※)	収入(C)	0	0	0	
支出(D)		0	0	0		
収支②(C-D)		0	0	0		
合計収支(①+②)		△17	△24	7		

※ 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	広島市森林公園と共同イベントの開催やイベントチラシ等への両園の情報掲載, 平成 29 年のカレンダー共同制作・配布, 共同キャンペーンの開催, 犬が遊べる広場の整備など集客増に向けた取組を実施した。	利用者の増加に向け, 低頻度利用地の活用を図る取組や積極的な広報を図るなど, 利用者の増加に向けた取組が行われている。
	○業務の実施による, 県民サービスの向上	広大で豊かな自然に恵まれたフィールドを活用して, 各種の研修会・体験イベント等を実施した。また, 地元住民やボランティア団体と協働して緑化活動や清掃活動を実施した。	ボランティアと協働で, 施設管理や緑に親しめる環境づくりに取り組んでおり, ボランティアの育成と併せ, 施設管理経費のコスト削減を図る工夫がなされている。
	○業務の実施による, 施設の利用促進	多くの県民が利用しやすいように, 行楽期である 4・5 月, 10・11 月を全日開園とするとともに, 夏季 (7・8 月) の開園時間を延長した。	利用者ニーズや利用状況に応じた開園日時の変更など, サービスの向上に取り組んでおり, 施設の利用促進を図っている。
	○施設の維持管理	利用者アンケートの意見を参考に研修会や展示会の計画を立てている。また緑化に関する各種相談に対しては丁寧な対応に努めている。	緑化相談 (479 回) や各種研修会 (57 回 出席者 1,646 人) を実施し, 施設目的に沿った業務を行っている。また展示企画やイベント内容について, 利用者が求める内容に随時変更するなど, 利用しやすい工夫を図っている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	繁忙期と閑散期で勤務する人員を調整するとともに, 緊急事案等に対して迅速に対応できるよう柔軟に対処した。	勤務ローテーションの調整や業務直営化による運営予算の効率化, 清掃業務の一部を同一業者へ発注するなど市森林公園との共同管理によって, 更なる業務効率化を図る取組を進め, 効率的な業務運営がなされている。
	○効率的な業務運営	清掃業務の一部を広島市森林公園と同一の業者へ発注し, 業務効率化を図るとともに, 定期点検等から修繕計画の優先度を検討し, 施設修繕を予算内で適正に実施するなど施設の質の向上に努めている。	
○収支の適正			
総括		平成 29 年度から開始する広島市森林公園の一体管理に向け, 取組を強化するとともに, 低頻度利用地の活用など今後の利用者増に向けた掘り起しが行えた。 一方, 天候の要因により利用者が減じていることから, 魅力ある施設となる取組が必要である。	天候条件により利用者が減少しているものの, 市森林公園の一体管理に向けた取組や, 低頻度施設の利活用, 積極的な広報, 植物の専門知識を活かした取組が行われ, 施設の利用促進が図られている。 また, 老朽化が進む施設の維持管理を適切に行うとともに, 利用者の安全確保が図られるなど, 管理運営が適切に図られている。

8 今後の方向性 (課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (平成 29 年度)	○広島市森林公園との一体的な運営管理による活性化と課題の抽出 ○公園運営・情報の発信 ○施設の利活用の推進	○広島市森林公園との一体管理の課題や集客効果の検証 ○園内の危険木処理や老朽化施設の一部修繕実施
中期的な対応	○利用者増に向けた魅力ある施設づくり ○老朽化施設の計画的な修繕	○検証結果を踏まえた集客増に向けた取組や効果的な施設運営 ○老朽化施設の計画的な修繕